

Active activity

# しま×にじ 通信

Active activityで実施している「しま×にじ」の活動を紹介します。

## ▶メンバー

子育て応援課	杉本	スポーツ振興課	山下
市民協働課	天草	市民協働課	藤原
人事課	大石	建設課	柴田
市民協働課	原田	内陸フロンティア推進課	村松

# しま×にじの活動目的

- ▶職員が性の多様性やジェンダー問題について、正しい知識や考え方をもち、組織内で性別に関わりなく能力を発揮できる環境整備を目指していきます。
- ▶市民に対しても性別・外見などに関わりなく適切な対応を心がけられるよう、グループで意見や考えを深めていきます。

## ▶グラドルール

- 人の話を遮らない。最後まで聞く。
- 他の発言を否定(ジャッジ)しない。
- 正解はありません。考えることが大切！
- 年齢や階級の垣根を越えて交流しよう。
- 無理に参加・発言しなくてもOK。

## ▶チェックイン：GWなににして過ごした？

- ・ 実家に帰省
- ・ 友達とドライブ
- ・ 結婚式の準備
- ・ 押し活で遠出

・・・など



## ▶メンバー発表会④

### 【身近なスポーツ活動における課題・困難】

LGBTの方々はこういった課題や困難を抱えているのか？

男女でユニフォームや  
移動着の色や形が違う

グループ分け  
「男子はこっち」  
「女子はこっち」  
分けられる

女性のチームスーツが  
スカートしかない

練習時の更衣室が  
みんなと一緒に、嫌

合宿時のお風呂、  
みんなが入るのが嫌

一人目のテーマ「スポーツと多様な性について」

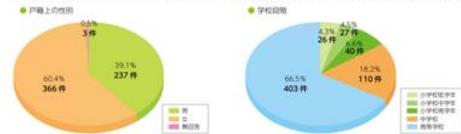
スポーツ界における、トランスジェンダー選手の出場に対するさまざまな意見や、協会の出場資格について調査しました。また、プロスポーツなどの大きな競技舞台と、身近なスポーツ活動でのそれぞれの課題や困難を分析し、誰もが安心してスポーツを楽しみ健康な人生を送るための案を考えました。

▶メンバー発表会④

(参考) 学校における性同一性障害に係る対応に関する状況調査

3. 学校における性同一性障害に係る対応に関する現状

(1) 学校における性同一性障害に係る対応に関する状況調査の結果、全国から606件の報告がありました。



(2) 全国の学校において、服装、トイレ、席巻、髪型等に関する対応がなされている割合を示した。



二人目のテーマ「生徒にとって安心できる校内環境」

性的マイノリティの児童生徒に対する対応は国のガイドラインに示されているものの、性同一性障害ばかり具体例が挙げられ、そのほかのセクシュアリティに対しては漠然とした対応ばかり挙げられている点に着目しました。

資料を踏まえ、LGBTQの対応には、個々のセクシュアリティにおける具体的な共通認識も必要ではないかとの見解を示しました。

# 参加者の感想・意見（抜粋）

身近なスポーツ活動では、身体の接触が激しくないスポーツを考えることで、性別といった違いに関係なく楽しめるのではないかな。

性のあり方が多様化する中で個々のケースに対応するのは大変。でも大変だからしょうがないわけではなく、考慮が必要。

オリンピックに出場するトランスジェンダー選手は今後も増えていくのだろうか？

学生時代に校則で髪型の指定があり頭髪検査が行われていた。今でもあるのだろうか？

障害者の義足は有利か不利かのように、どちらともいえないものはたくさんある。

子どもは性別分けしない育児を心がけていても外からそういう情報を仕入れている。学校での環境づくりが必要。